

空間建材:壁

抗ウイルス・抗菌メラミン建材

手がよく触れる箇所は要注意

ウイルスと細菌の対策で効果的に清掃を行うには、手がよく触れるところ(接触ポイント)の清掃が重要です。トイレ空間では壁面、トイレブース、ライニングや洗面カウンターが接触ポイント。ウイルテクトシリーズはメラミン化粧板、メラミン不燃化粧板(セラルル)の高い物性に抗ウイルス・抗菌性能を付加した建材です。傷や汚れに強く、耐薬品性にも優れているので、きれいにお使いいただけます。万一の拭き残しや、清掃後にウイルスが付着した場合などでも、ウイルテクトなら表面に付着した特定ウイルスの数を減少させます。



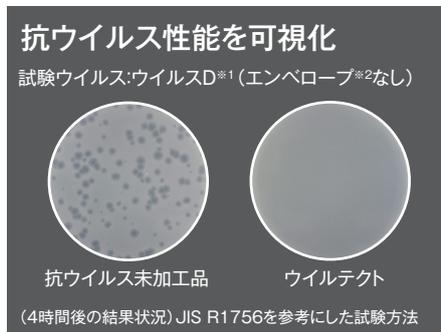
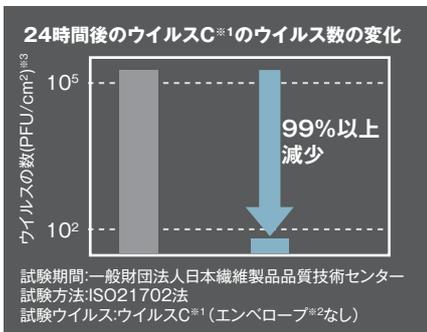
抗ウイルス建材「ウイルテクト」が
2020年度グッドデザイン賞受賞

壁面にはセラルルウイルテクト(アイカ工業)



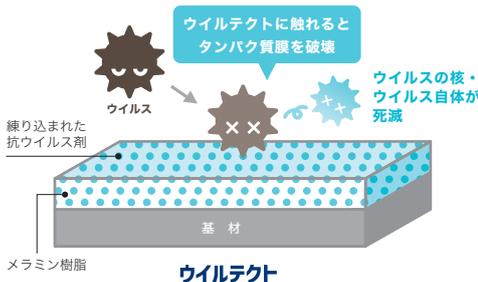
左) 某眼科 設計/株式会社アッシュ
右) 函館脳神経外科

抗ウイルス・抗菌性能



- *1 薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の関係上、特定のウイルス・細菌名が表記できないため、ウイルスC(エンペロープなし)、ウイルスD(エンペロープなし)、菌Eとしています。
- *2 ウィルス粒子にみられる膜状の構造。エンペロープがない場合、エンペロープありの場合と比較してアルコール等の消毒液耐性が強いといわれています。
- *3 PFU(Plaque-forming unit)の略。プラーク数から測定したウイルス数の指標。
- *4 バイオチェッカーは病院や老人ホームで、細菌の自主管理によく使用されています。バイオチェッカー(サンアイバイオチェッカーFC(食品業務用)/三菱石油株式会社〈ご注意〉 ●抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。●SIAAの安全性基準に適合しています。●本製品は感染予防を保証するものではありません。●抗ウイルス性能は全てのウイルスに対して発現するものではありません。また、全てのウイルスに同様な試験結果が得られるとは限りません。●掲載しているデータおよび写真は試験結果であり、保証値ではありません。また、実際の使用状況で同様の効果を保証するものではありません。●医薬品や医療機器などの医療を目的とした製品ではありません。●表面のツヤが変化するほど摩耗すると抗ウイルス性能が低下することがあります。●表面に汚れが付着した状態では、効果を発揮することができませんので、適切なお手入れを実施してください。●同柄番号でも、一般品とウイルテクトシリーズでは、色味・艶が違いますので、同一物件の同一面でのご使用は避けてください。

抗ウイルスのメカニズム



ウイルスは、タンパク質の膜と、その内部の核酸(ウイルスの核)が基本構造です。抗ウイルス剤は、まず外壁膜のタンパク質を破壊します。外壁膜のタンパク質を破壊されたウイルスは、タンパク質合成を阻害され、やがてウイルスの核、ウイルス自体が死滅します。
抗ウイルス効果は、タンパク質の変性・合成阻害により発現。ウイルスは死滅します。

ウイルテクトは、抗ウイルス剤が塗り込まれているので抗ウイルス機能が持続*します。

※表面のツヤが変化するほど摩耗すると、抗ウイルス性能が低下することがあります。

清掃用の薬品にも強いウイルテクト

アルコールや次亜塩素酸ナトリウムで拭いても大丈夫。
繰り返し消毒薬を使った拭き掃除をしても、抗ウイルス性能に大きな影響はありません。

SIAA登録品



ISO 21702
抗ウイルス加工

登録商標
JIS R 1756
ISO 22196
抗菌加工

ISO 22196
for KOHKKIN

登録商標
JIS R 1756
ISO 22196
抗菌加工

SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

●抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
●SIAAの安全性基準に適合しています。

SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。